

講義コード	21K0137501	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	北村 行伸	開講期	1期
科目名	データサイエンスと価値創造				北村 行伸			1期	
履修前提条件									
授業の目的	データサイエンスの基礎知識をある程度身につけた上で、実社会でのデータサイエンスの実装について学ぶ。ここでは、データサイエンスが、ビジネス、社会、スポーツ、観光といった分野でどのように使われ、また、どのような応用が求められており、それをどのように提供していけばいいのかを考えることを目的としている。実社会で、データサイエンスを用いて価値創造をするには何が求められているのかを実感させる講義とする。								
到達目標	データサイエンスを用いた価値創造の方法・可能性について十分に理解できる。 自らの関心のある分野を選び、それに関してさらに勉強を深めることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、授業で学んだ要点を復習し60時間以上の授業外学修を行うこと。								
授業計画	【第1回】オリエンテーション 【第2回】データサイエンスと価値創造の基礎1：数理・情動的なデータ処理・分析 【第3回】データサイエンスと価値創造の基礎2：経済・ビジネス系の価値創造 【第4回】データサイエンスと社会1：社会 【第5回】データサイエンスと社会2：自然 【第6回】データサイエンスと社会3：観光 【第7回】データサイエンスとビジネス1：マーケティング 【第8回】データサイエンスとビジネス2：サービス 【第9回】データサイエンスとビジネス3：スポーツ 【第10回】データサイエンスと経済政策1：統計 【第11回】データサイエンスと経済政策2：金融 【第12回】データサイエンスと経済政策3：EBPM 【第13回】データサイエンスと国際社会1：SDGs 【第14回】データサイエンスと国際社会2：データサイエンティストが作る未来 【第15回】総括								
成績評価の方法	授業中に出す課題（75%）と授業への取り組み（25%）で評価する。 成績評価にはルーブリックを用いる。								
フィードバックの内容	課題に対する講評を授業内で行う。								
授業実施形態について	【メディア授業】 基本的にオンライン形式で実施する。オンデマンド型や資料配付型で実施する。詳細は、授業において案内する。								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『授業時に資料を配付する。』									
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『データサイエンス設計マニュアル』	スティーブ・S・スキーナ	オライリー・ジャパン	2020	9784873118918					
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『ハッカーと画家』	ポール・グレアム	オーム社	2005	9784274065972					
教員からのお知らせ	授業には積極的に参加すること。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。								
アクティブ・ラーニングの内容	意見共有								
その他	授業担当教員へはTeamsのチャット、大学の生涯メールアドレスを利用し連絡すること。								